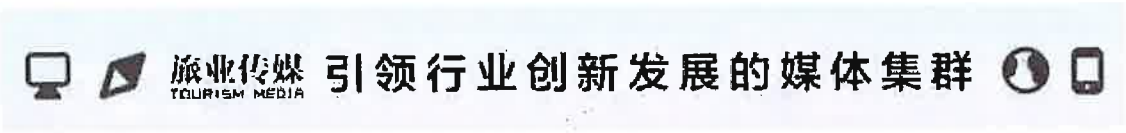
近四成人选择海岛婚礼 Top3目的地话你知

旅业网 3天前



百合婚礼联合中青旅遨游网发布《2018国人海岛婚礼趋势调研白皮书》

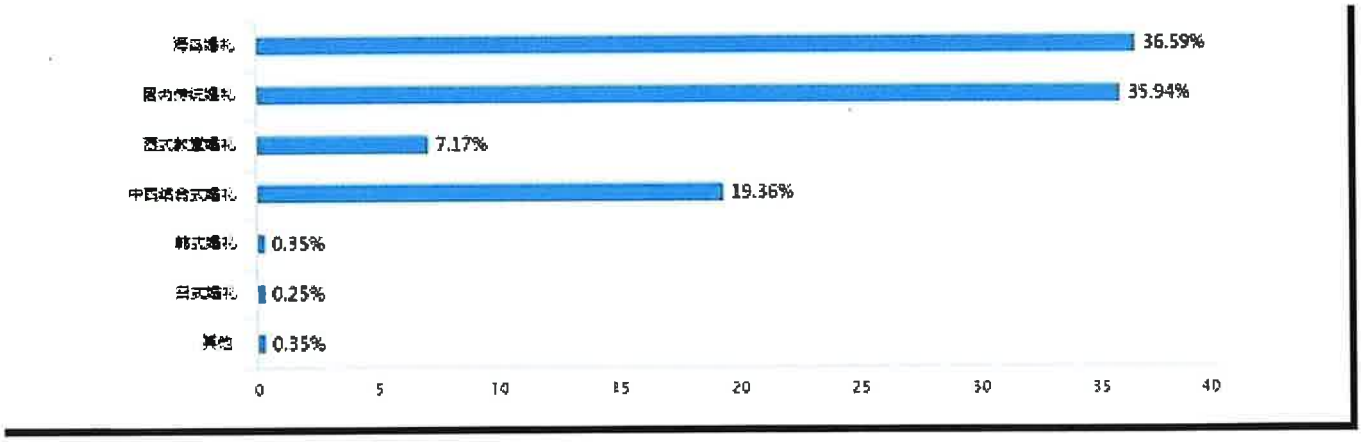
婚礼，作为人们一生中最重要的一件大事，其形式在今天已经随着消费升级迎来了更加多元化的发展。伴随着近年来海岛游的火热，如今，风景唯美、带有浪漫色彩的海岛成为越来越多年轻人向往的结婚圣地。无论明星还是平民百姓，海岛婚礼已经走入大众的视野，成为了人们婚礼形式的另一种选择。

为了对海岛婚礼有更加深入的了解，并对新人提供更具针对性和专业性的婚礼服务，2018年4月起百合婚礼联合中青旅遨游网聚焦海岛婚礼展开专项调研。据悉，本次调研采用百合婚礼网络问卷及中青旅遨游网用户大数据分析的方式进行，调研对象覆盖了全国各个省市18-50岁人群，七成以上被调人群年龄段在26-40岁之间，男女比例为44.1%：55.9%。调研分别从海岛婚礼的选择、新人偏好、费用预算、套餐服务、获客渠道等八个方面入手，全盘扫描人们对海岛婚礼的喜爱偏好。2018年5月20日，《2018国人海岛婚礼趋势调研白皮书》正式权威发布，此次报告也对大众海岛游趋势有着借鉴意义。

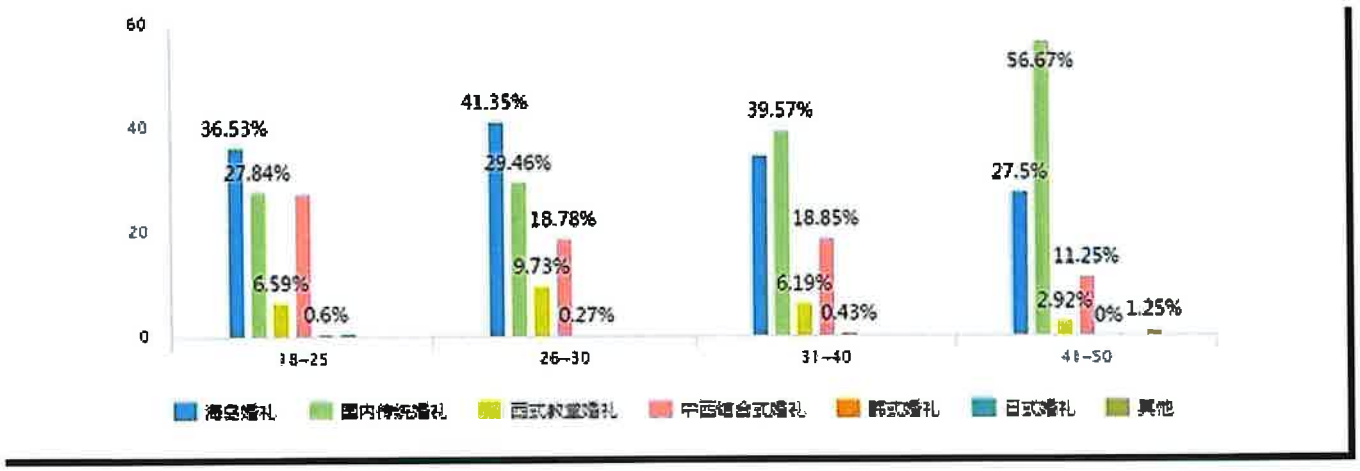
海岛婚礼异军突起 成为30岁前新人首选

在大众的印象中，当今最受人们欢迎的婚礼举办形式当属国内传统婚礼或是中西结合式婚礼。因为二者存在于人们的日常生活中，极为常见。而本次调研结果显示，海岛婚礼选择率（36.59%）近四成，国内传统婚礼（35.94%），中西结合式婚礼（19.36%）。可以看出人

们在执着于办婚礼的同时，举办婚礼的形式和观念并非一成不变。

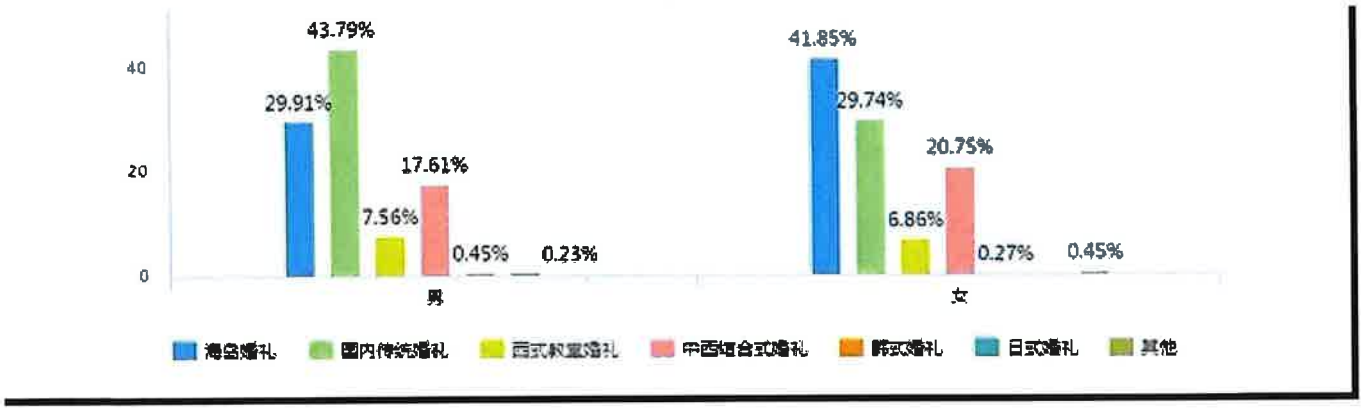


调查显示，30岁成为婚礼模式选择转变的分水岭——如果只办一场婚礼，30岁之前的人群更倾向于海岛婚礼，30岁以后的人群则更倾向于国内传统婚礼。可见，年轻人更易求新求变能折腾，在消费升级和明星潮流的带动下，海岛婚礼自然成为首选。

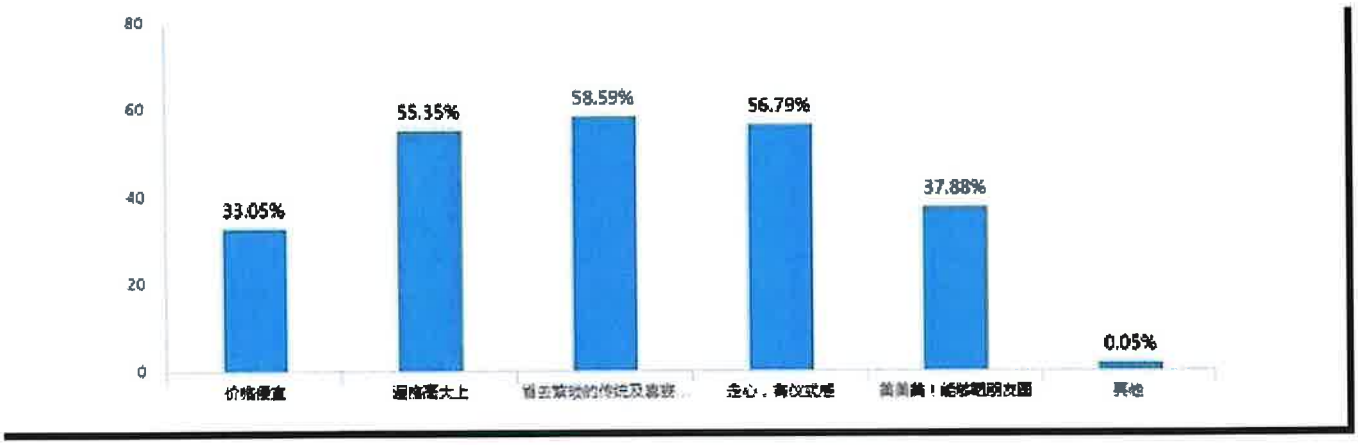


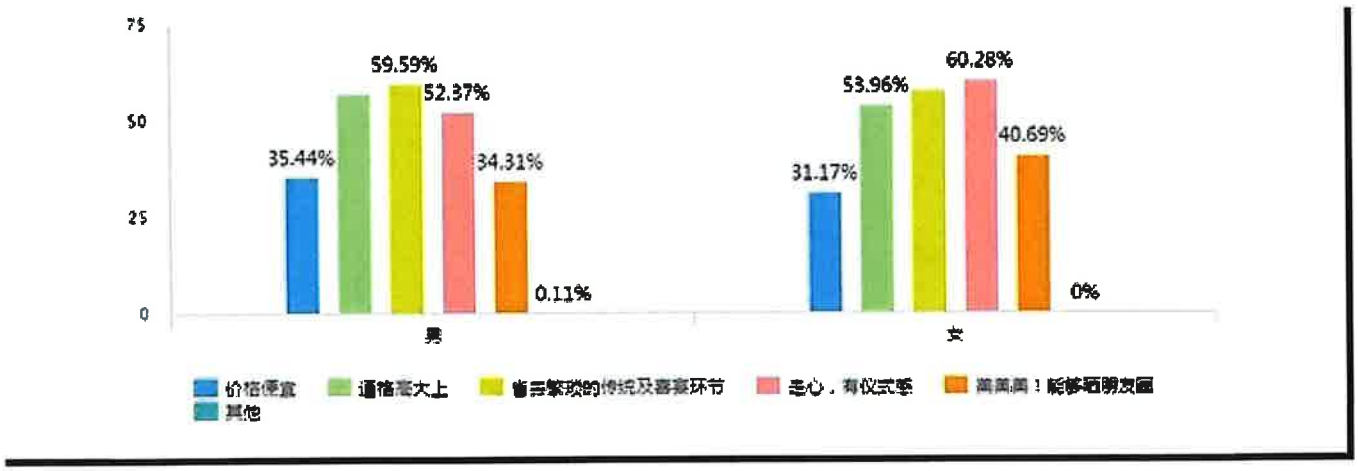
女性更爱海岛婚礼 简单走心能晒朋友圈

调研结果中，男性和女性对婚礼模式有着旗帜鲜明的差异——男性倾向于国内传统婚礼（43.79%），而女性更喜欢海岛婚礼（41.85%）。在两性关系中，可能与男性更为实际，而女性更渴望新鲜浪漫有关系。当然，很多人婚礼一生只有一次，大部分新人也表示会以女方意见为主。



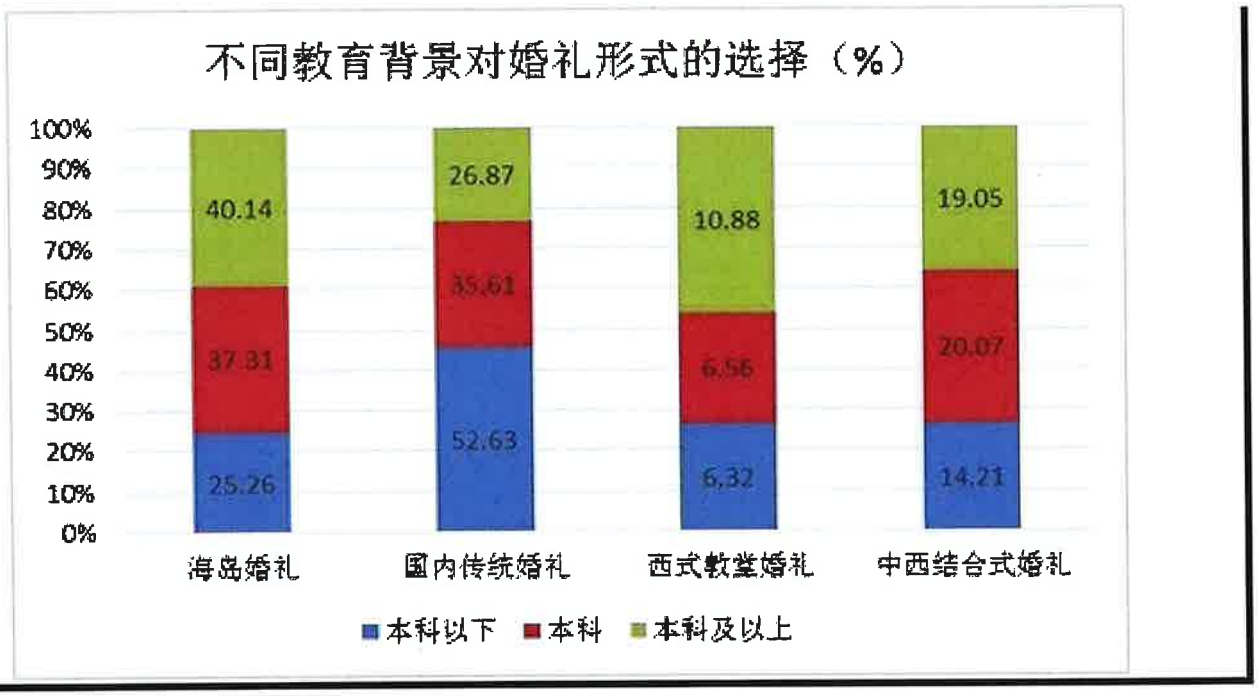
近四成调研用户选择海岛婚礼，必然有其优势和原因，简单不老派（58.59%）、走心（56.79%）、高大上（55.35%）成为大家选择海岛婚礼Top3理由，值得晒（37.88%）也是很重要的。其中，男性选择海岛婚礼最主要的原因在于省去繁琐的传统及喜宴环节（59.59%），而女性则更多地在意海岛婚礼的走心仪式感（60.28%）。可见，新人选择海岛婚礼的主要原因，是满满仪式感能使婚礼免于流俗，不仅满足新婚伴侣走心的情感需要，还能满足都市人爱现的心理。



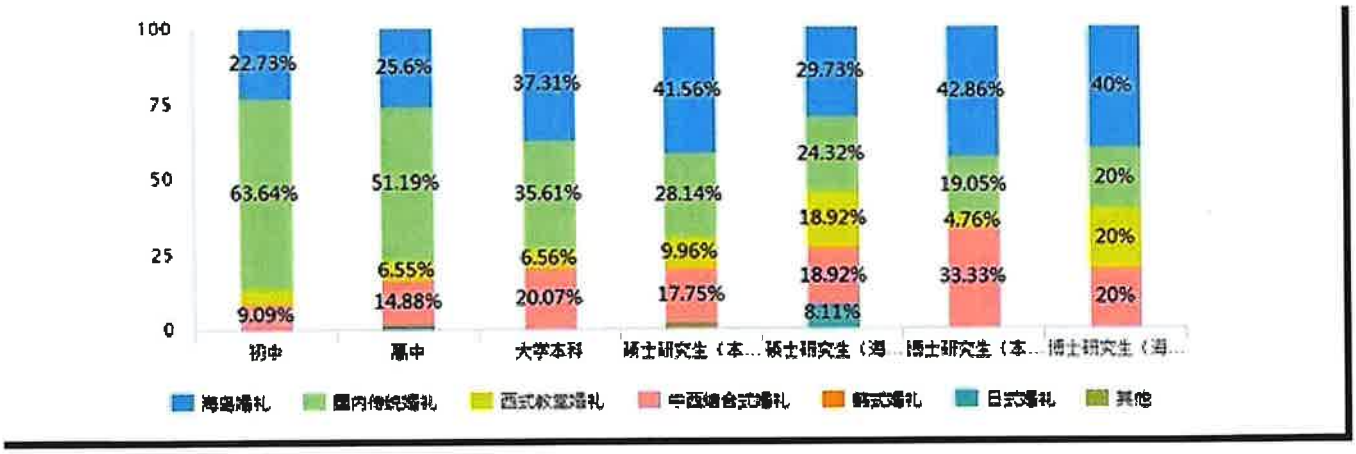


高学历者更偏爱海岛婚礼

在选择海岛婚礼的人群中，本科及本科以上占比77.45%；在选择国内传统婚礼的人群中，本科以下占比52.63%。基本上，教育程度越高，选择海岛婚礼的比重越大。



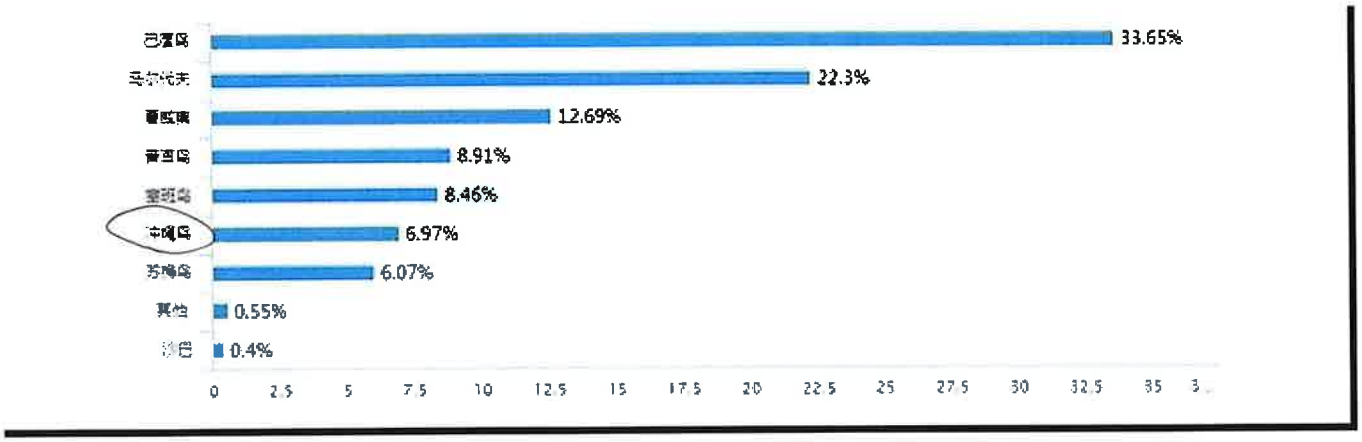
调研还显示，随着学历升高选择海岛婚礼比例伴随明显的增长趋势。但相对于本土硕博，海归们则对海岛婚礼兴趣平平。



巴厘岛、马尔代夫、夏威夷成为海岛婚礼TOP3圣地

在选择海岛婚礼举办地点时，巴厘岛（33.65%）、马尔代夫（22.3%）、夏威夷（12.69%）成为人们心目中最受青睐的前三名。相较于其他岛屿，以上三岛在国内更为耳熟

能详，常常作为婚礼胜地代名词，以岛内更为完备的婚礼服务体系与广受传播的好口碑吸引众多新婚伴侣前往。



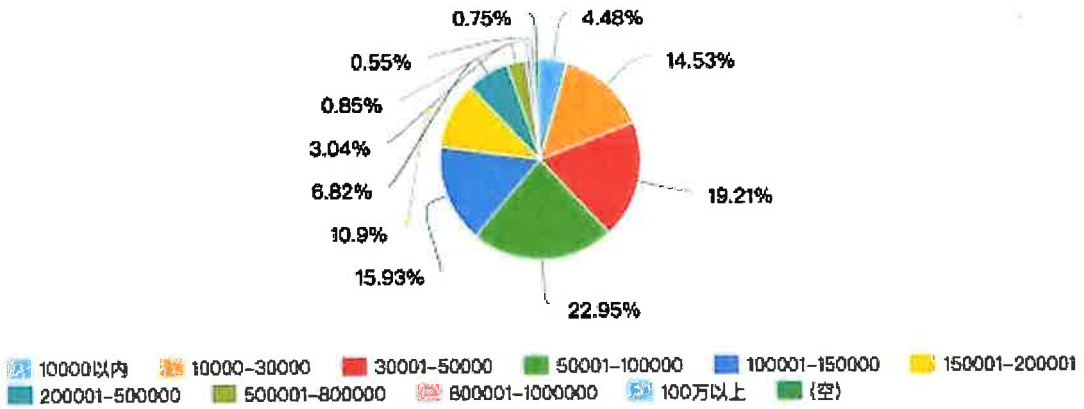
根据中青旅遨游网提供的数据显示，无论是海岛婚礼还是海岛游，人们对岛屿的选择上有极大重合。近5年（2013-2017+2018第一季度）海岛游，前十海岛排名中，巴厘岛、马尔代夫、夏威夷同时也是海岛婚礼圣地。海岛游与海岛婚礼相互带动促进岛屿知名度提升，从而进一步促进大批游客前往，一定程度上存在岛屿间的马太效应。

近五年海岛游 TOP10	
TOP1	普吉岛
TOP2	巴厘岛
TOP3	塞班
TOP4	马尔代夫
TOP5	长滩岛
TOP6	夏威夷
TOP7	民丹岛
TOP8	苏梅岛

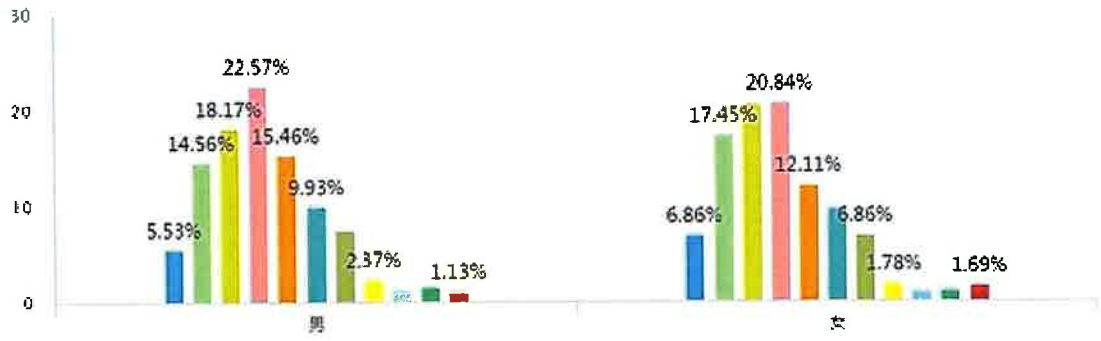
TOP9	冲绳
TOP10	斯里兰卡

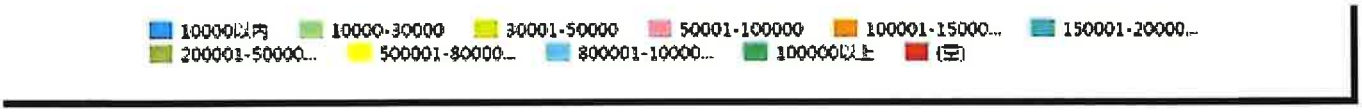
“白菜价”也可以办美美美海岛婚礼平均2-5万（不含机酒）

办一场海岛婚礼究竟要花多少钱？报告显示，对于海岛婚礼，人们的心理预期费用要略高于婚礼预算，但大家仍愿意为海岛婚礼埋单。有58.09%的人群婚礼预估费用集中在3万元-15万元区间，其中预估费用在5-10万居多（22.95%）。



所有受访者的婚礼预算平均为124535.4元，而海岛婚礼的预估价格为123932.3元，二者相差不多。男性与女性所预估的海岛婚礼价格也差异较小，分别为119063.2元和127773.8元。根据中青旅遨游网提供的海岛游数据显示，海岛游的人均消费在10444-12087元之间。而据百合婚礼提供的数据显示，海岛婚礼的实际花销平均为2-5万（不含机酒）。想象中，高大上又走心的海岛婚礼，费用必然令人难以企及，实则不然。

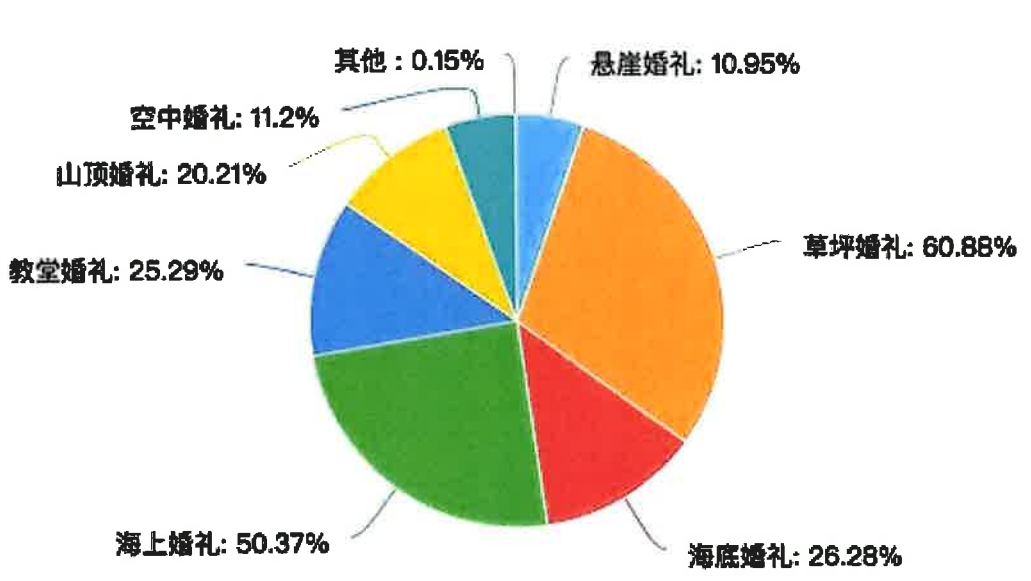




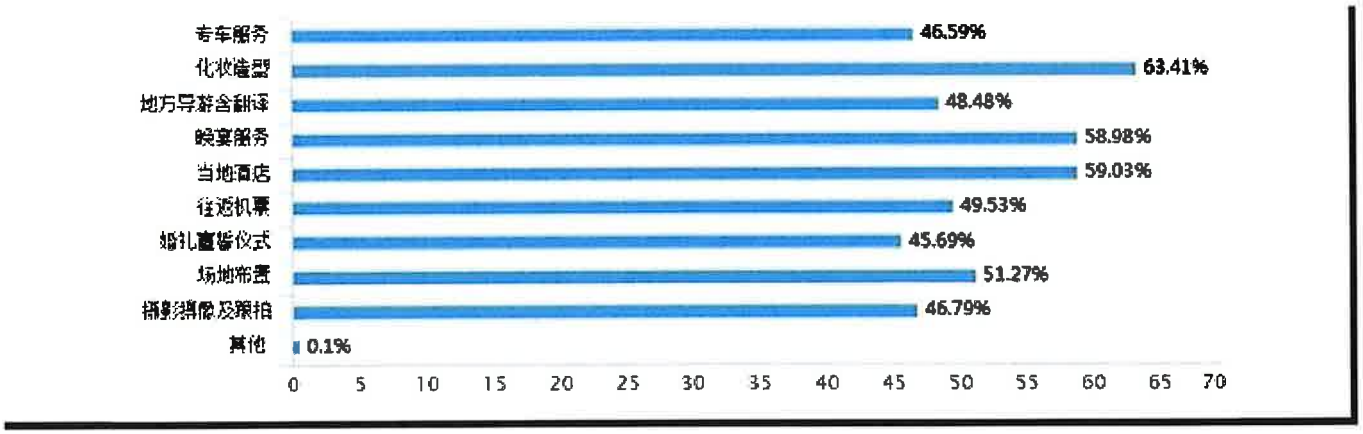


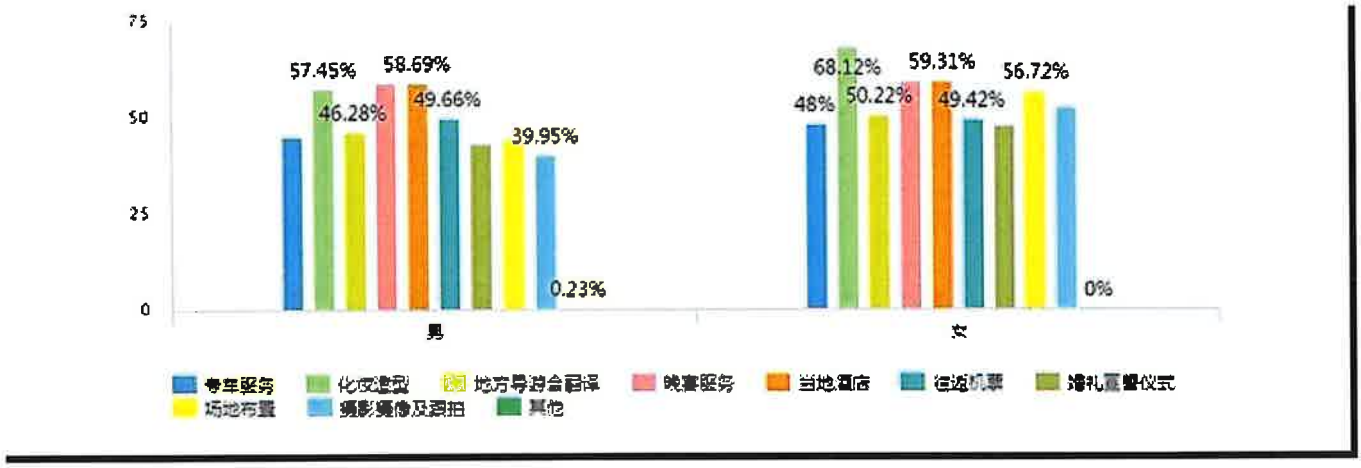
草坪及海上婚礼是最受欢迎的海岛婚礼模式

既然选择在海岛办婚礼，那么何种形式的海岛婚礼更受热捧呢？调研发现，最受欢迎的形式当属草坪婚礼（60.88%）和海上婚礼（50.37%）。这两种婚礼既能满足海岛的环境特色，又较为安全，并且方便亲朋来宾见证。虽然一定程度上，人们希望婚礼超出传统、免于流俗，但也并非完全追求新奇和刺激。因此悬崖、山顶、空中婚礼还只是小众选择。



此外，在海岛婚礼所含的套餐服务中，排名前三的分别是化妆造型（63.41%）、当地酒店（59.03%）以及晚宴服务（58.98%）。其中，男性更注重晚宴（58.92%），而对于女性而言，化妆造型（68.12%）以明显的优势位居首位。可见，在婚礼举办中，男性在意“吃得好”，更在乎“里子”；女性要时刻保持“美美哒”，更注重“面子”。





对于海岛婚礼流行的原因，百合婚礼负责人李浩表示，近几年，明星婚礼的带动让海岛婚礼给大众留下了美好的印象。因为海岛婚礼往往是精致的小规模聚会，只有至爱至亲挚友才会到场观礼，更加甜蜜、和谐，是相对私密、真正办属于自己的婚礼。

另一方面，当越来越多的消费者跨入中产阶层，并愿意为个性和品质买单，对于婚礼这件人生大事有了更多的选择，人们不再局限于传统的婚礼形式，期待婚礼能更加多元、更加个性化。

中青旅遨游网产品事业部总经理也表示，近年来海岛游已成为市场热点，随着游客旅游消费水平不断提升，对海岛旅游的认知及需求日渐提高。当婚礼再也不是完成任务式的“走流程”，而是完成自己人生大事的“走心”环节，海岛婚礼对各个细节的重视，以及当地一应俱全的各种配

四割近くの大人がリゾ婚を選ぶ
トップ３の目的地を教えちゃおう

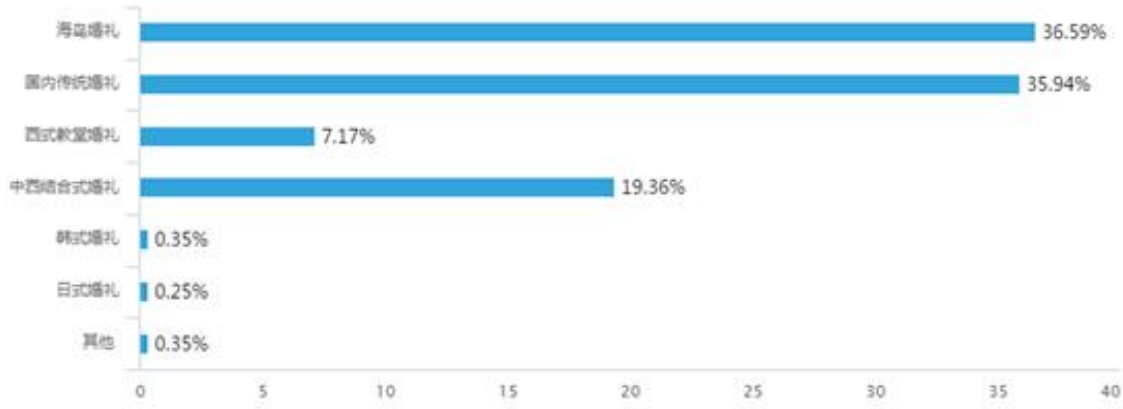
＜百合婚礼が CYTS ウェブサービスと連名で「2018 年国民リゾ婚トレンド調査白書」を発表＞

ウェディングは人生で一番大事なイベントのひとつとして、そのスタイルは消費のグレードアップに伴い多様になりつつある。近年リゾート地の流行りにつれ、ロマンチックな絶景のリゾート地は多くの若者が憧れるウェディングの聖地になっている。芸能人や一般人といった垣根なく、リゾ婚は一般的になり、新しい結婚式の選択肢になった。

リゾ婚をより深く理解し、結婚を検討するカップル向けによりターゲットを絞り、より一層プロフェッショナルのサービスを提供できるよう、2018 年 4 月から百合婚礼と CYTS ウェブサービスが連携し、リゾ婚をテーマに特別調査を行った。この調査は、百合婚礼 NET 及び CYTS ウェブサービスユーザーへアンケートのデータを分析して実施したものである。調査対象は全国各地より 18～５０歳の方と決め、その年齢層の七割以上は２６～４０歳、男女比率は 44.1%：55.9%だった。調査内容はリゾ婚の選択、カップルの嗜好、予算関係、パッケージサービス、顧客獲得ルートなど八つのテーマ別とされ、全般にわたってリゾ婚に対する好みの調査データを得た。2018 年 5 月 20 日、「2018 年国民リゾ婚トレンド調査白書」が正式に発表、今回のレポートはリゾート地観光トレンドに参考として一定の意義がある。

＜リゾ婚が新しく登場　30 代カップルのファーストチョイスになる＞

国民の印象では、今最も人気がある結婚式とは伝統的な国内結婚式或いは中国と西洋の組み合わせウェディングである。というのは、この二つが日常生活によく見られるから。しかし、今回の調査結果により、四割近く（36.59%）の方がリゾ婚を選ぶ、伝統的な国内結婚式が 35.94%、中西組合せウェディングが 19.36%である。このデータで分かったのは、国民が結婚式を挙げる事にこだわりが高いが、結婚式のスタイルや考え方は必ずしも昔と同じではないということである。



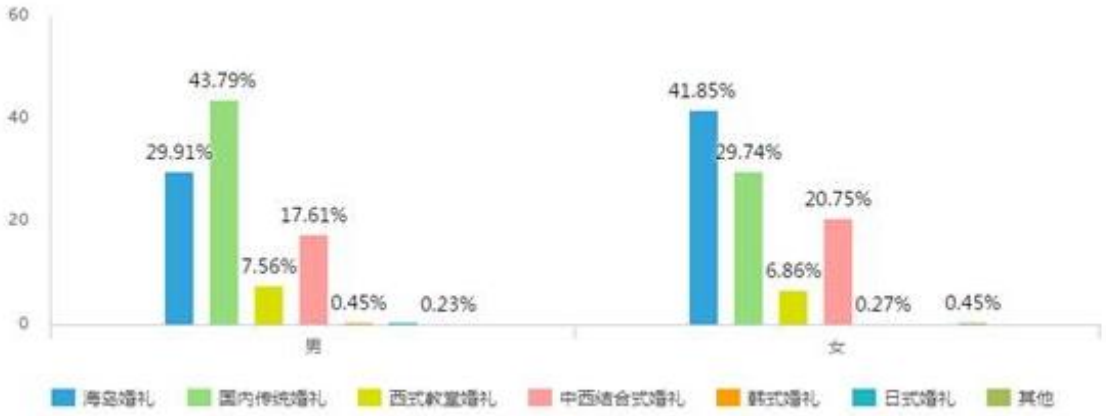
調査では、30 歳が結婚式スタイル選択の分かれ目となる。もしひとつだけ結婚式を挙げるのであれば、30 歳未満の方はリゾ婚を選ぶ傾向にあるが、30 歳以上の方は伝統式に傾く可能性が高い。なので、若者は常に変化に合わせ新しいものを求めるし、何事に対しても挑戦したいし、消費能力向上と芸能人ブームの刺激を受けて、リゾ婚は当然ファーストチョイスになるのだ。



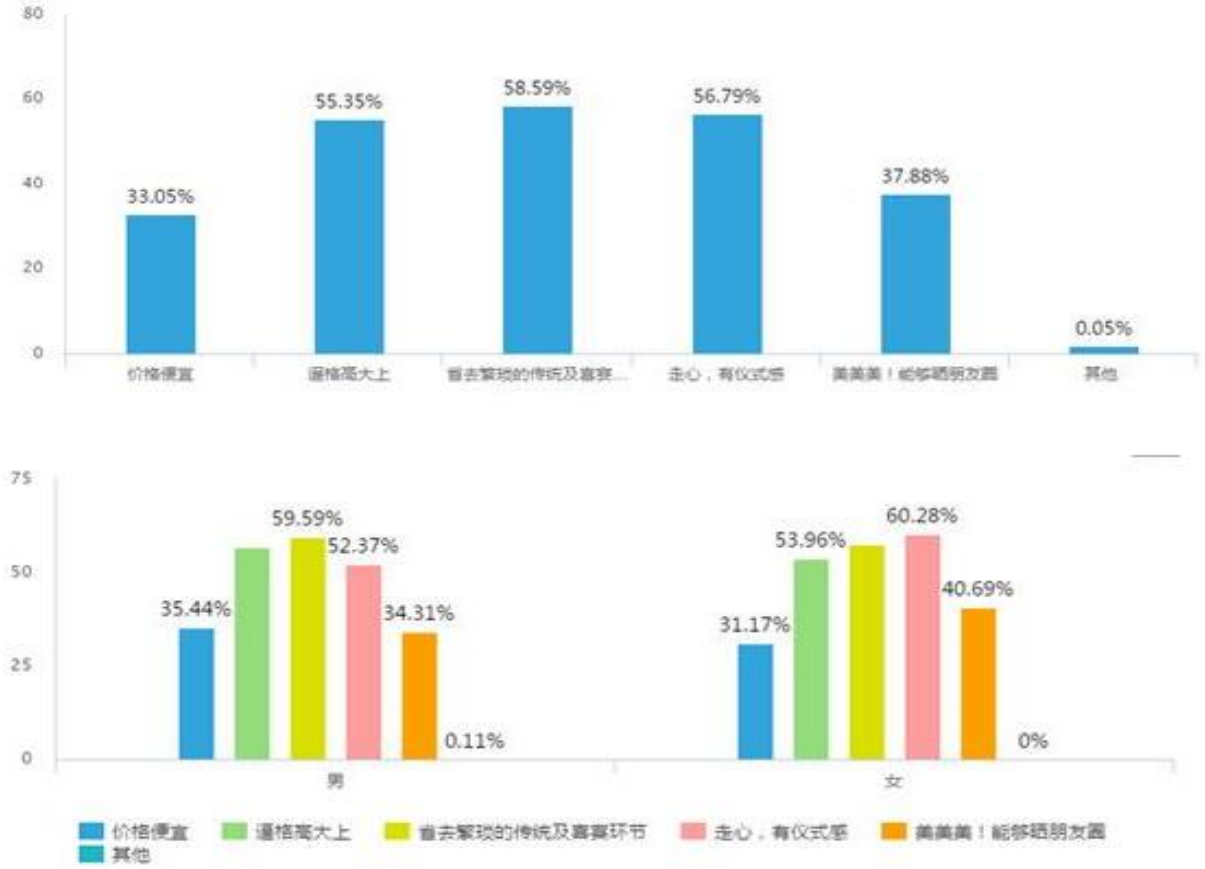
（訳文：リゾ婚、国内伝統結婚式、西洋チャペル結婚式、中西組合せウェディング、韓国式、和式、その他）

＜リゾ婚は女子に好まれる　シンプルでムネキュン　インスタ映えも魅力的＞

調査では、男女別で結婚式のスタイルに著しい差があることがわかった。男性は伝統式を好む（43.79%）のに対して、女性はリゾ婚へ好意を持つ（41.85%）。それはたぶん、男女関係の中において男性は現実的で、女性はロマンチック感を求めるからであろう。当然の事だが、一生に一度の結婚式だから女性の意見を尊重すると考える人がほとんどだと思われる。



4割の方がリゾ婚を選ぶには必然的にそこには優勢なものと原因がある。シンプルで流されない（58.59%）、魅力を感じる（56.79%）、ラグジュアリー感がある（55.5%）というのは皆さんがリゾ婚を選択する理由のトップ3である。フォットジェニックも大事な要素である。そんな中、男性がリゾ婚を選ぶ主な理由は繁雑な伝統結婚式の形式が要らないから（59.59%）、それに対して、多くの女性はリゾ婚の心惹かれるセレモニー感に気に入った（60.28%）。まとめると、新婚カップルがリゾ婚を選ぶ主要な原因はありふれた形ではなく、儀式感満載のリゾ婚の方が心ときめかせたいニーズを満たせてくれるし、都会人の注目されたい心理にも満足できるからである。



（訳文：料金が安い、ラグジュアリー感がある、繁雑な伝統結婚式の形式が要らない、心惹かれるセレモニー感、絶賛のインスタ映え、その他）

＜学歴が高い方がリゾ婚を選ぶ＞

リゾ婚を選ぶ方の中で、大学院卒及びそれ以上の比率が 77.45%を占める。伝統の結婚式を選ぶ方の中で、大学卒及びそれ以下の比率が 52.63%を占める。基本的には教育水準が高いほどリゾ婚を選択する割合が高くなる。

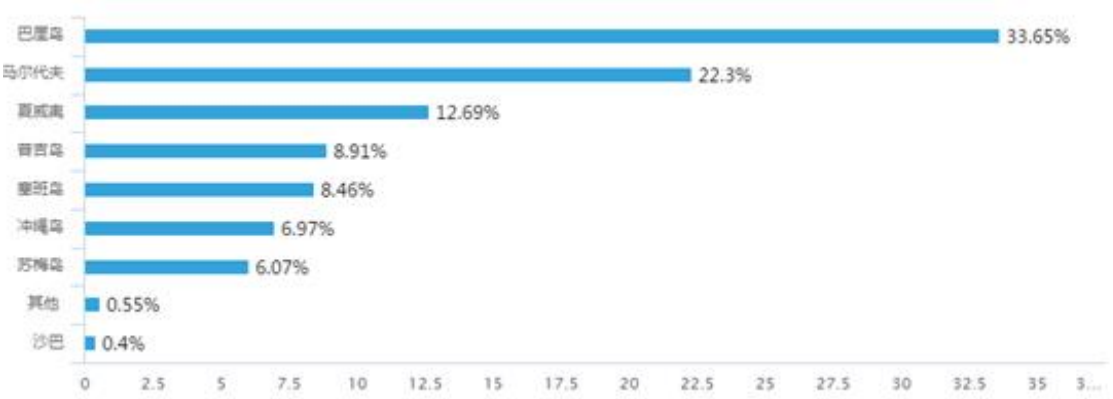


調査では、学歴が高い人ほどリゾ婚を選ぶ比率が明らかに伸びる傾向にある。しかし国内卒に対して、海外留学を終え帰国した方はリゾ婚についての関心はほどほどである。



＜バリ島、モルディブ、ハワイ島がリゾ婚の３大聖地＞

リゾ婚の場所として、バリ島（33.65%）、モルディブ（22.3%）、ハワイ島（12.69%）は国民の中で最も魅力的なトップ３となった。他の島と比較して、この三つの島の方がよく知られており、島内完璧なウェデイングサービスシステム及び口コミで広がっているため、現在はリゾ婚聖地としてたくさんの新婚カップルを引き寄せている。



（訳文：上から

の順：バリ島、モルディブ、ハワイ、プーケット島、サイパン島、沖縄、サムイ島、その他、サバ州）

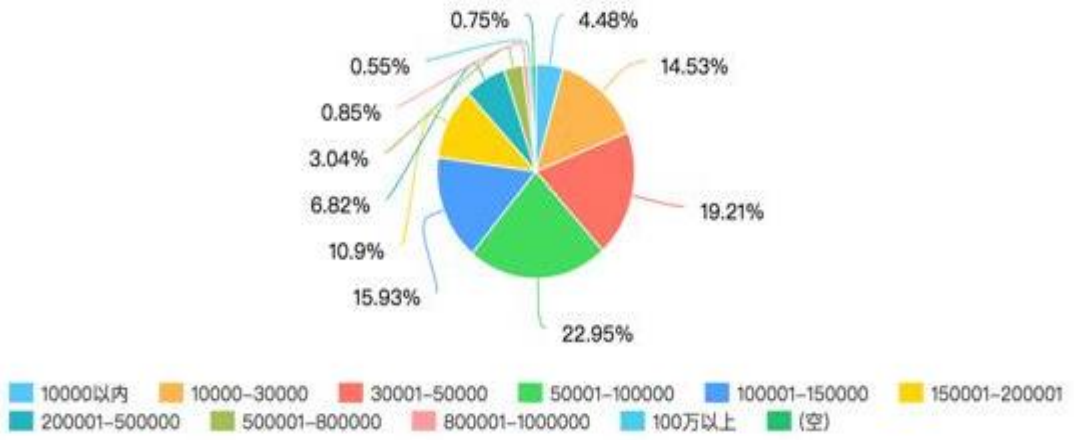
CYTS ウェブサービスが提供したデータによると、リゾ婚やリゾート観光、いずれにしても、皆さんは島の選択において重複する部分が多くある。この５年（2013 年～2018 年３月）リゾート観光地のランキングを見ると、上位１０か所の中で、バリ島、モルディブ、ハワイ島もそのランキングに入っている（下記通）。リゾート観光とリゾ婚は島の認知度を向上するため相互連携し合っており、域外からの観光客の誘致を促進させることで、ある程度「マシュー効果」が生じるとも言える。

近五年海岛游 TOP10	
TOP1	普吉岛
TOP2	巴厘岛
TOP3	塞班
TOP4	马尔代夫
TOP5	长滩岛
TOP6	夏威夷
TOP7	民丹岛
TOP8	苏梅岛
TOP9	冲绳
TOP10	斯里兰卡

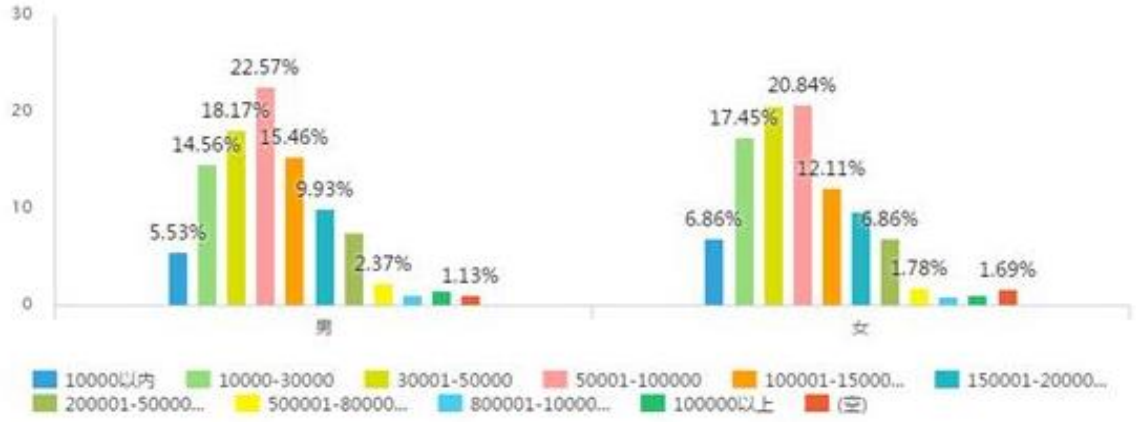
（訳文➡リゾート観光地トップ１０：プーケット島、バリ島、サイパン島、モルディブ、ボラカイ島、ハワイ、ビンタン島、サムイ島、沖縄、スリランカ）

＜低価格で叶うスーパー「美ら婚」　平均２-5 万元（エアーホテル代を除く）＞

リゾ婚を挙げるには一体どのぐらいかかるの？レポートによると、皆さんはわずかながら実際にかかる費用より高く予算を組んでいる。58.09%の人は結婚式コストに 3-15 万元を予測している中、5-10 万元の範囲に集中している（22.95%）。



アンケートを受けた全部の対象者から出した結婚式予算額の平均数字は 124,535.4 元に対して、リゾ婚を挙げるための予想価格が 123,932.3 元、二つの金額には大した差はなかった。そして、男女別で見積もったリゾ婚の料金もそれぞれ 119,063.2 元と 127,773.8 元でわずかに異なっていた。しかし、CYTS ウェブサービスが出したリゾート地観光に関する調査のデータには、一人当たり消費単価は 10,444-12,087 元となる。百合婚礼が出したデータの中で、リゾ婚を挙げるため実際に発生した費用の平均額は 2-5 万元である（エアーホテル代を除く）。なので、イメージでは高そうなリゾ婚に関して、真実では手の届かない存在ではないのだ。



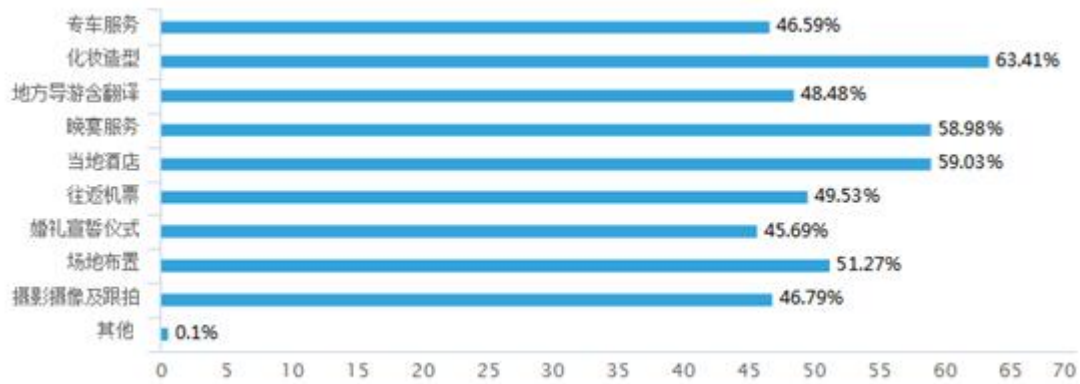


＜ガーデンウェデイング及びビーチウェディングが一番人気のあるリゾ婚スタイル＞

リゾ婚を選択した以上、どんな形でリゾ婚を演出したら喜ばれるのか。調査で分かったのは、やはりガーデンウェディング（60.88%）とビーチウェディング（50.37%）は一番人気が集まっている。この二つのスタイルはリゾート地という島の個性を生かしながら、より安全であり、家族や親友に集まって祝福される最適な場所である。新婚カップルはある程度、結婚式が伝統を超え個性のある形にしたいと願っているが、それはまったく新しい刺激を求めるものではない。だから、崖、山の頂上或いは空中挙式と言ったスタイルはニッチなものである。



また、リゾ婚に含まれるサービス内容の中、最も気になるのはメイクアップ（63.41%）、地元のホテル（59.03%）及びディナーパーティーのサービス（58.98%）である。そのうち、男性はディナーパーティーで料理の内容（58.92%）、女性はメイクアップ（68.12%）が明確に重視するポイントとなった。つまり結婚式で、男性は「よく食べる」ことに関心を持っており、「中身」を重んじるのに対して、女性は「常に美しくいたい」ことに注意を払っており、「メンツ」を重視するのである。





（訳文：リムジンサービス、メイクアップ、ローカル通訳ガイド、ディナーパーティーのサービス、地元のホテル、往復航空券、宣誓式、場所のセッティング、ビデオ写真の撮影、その他）

百合婚礼の責任者李浩さんは、リゾ婚がヒットする理由についてこう語る。ここ数年、芸能人がリゾートウェディングを挙げることで注目を集め、インパクトのある好印象を国民に与えた。ほとんどのリゾ婚は贅沢でアットホームなパーティースタイルなので、大切な家族や親友にだけおもてなしという雰囲気の中、よりスイートで調和感がありつつ、プライベート感も重視される本物の二人だけのための結婚式になる。

一方、より多くの人は中間所得層へ拡大している世の中、消費者の動きも変わりつつある。自分の個性や品質のためお金をかけ、結婚式という人生でも大事なイベントに関する選択も多様化している。皆さんは伝統的な結婚形式にこだわらず、もっと豊富なスタイルを期待するようになった。

CYTS ウェブサービス事業部マネージャーも、近年リゾート地観光が市場ホットスポットになっていると述べる。観光客の消費能力の向上につれ、リゾート観光の認知や需要が日々高まっている。結婚式はもはや単なる任務の一環として終えたいのではなく、自分の人生で大切な未来へつながる一つの節目なのである。現地で様々な充実した施設の利用及び心を奪うような配慮の行き届いたサービスなどを含めたリゾ婚は、間違いなく現在最も注目されている結婚式のスタイルである。

★海外で結婚式の変化」というテーマで、インタビューの質問概要が5つあります★

①現在沖縄でリゾートウェディングを挙げる中国のお客様はどう言う特徴があるのか。ここ数年どう言う変化があるのか。（年齢層、消費傾向、式地の選択など）

➡沖縄で挙式を挙げる中国のお客様について、大手企業に勤めるマネージャー或いはそれ以上の職務の方々個人経営者が多数いる。いわゆる富裕層の方が多いと見られる。そして、二人だけの挙式から家族友人を招いて祝福されるウェディングへの変化がある。人数が増加することによって、消費額や滞在日数も増えている傾向が明らかになった。

②こういう変化が生じた原因について分析してください。

➡やはり「海外での結婚式」という概念が徐々に浸透し、その認知が高まったとみられる一方、中国人の消費力が高くなることに伴い価値観が変わった。海外リゾートウェディングを手掛ける中国ウェディング業者が日本のリゾート地である沖縄にも注目し、力を入れてプロモーションを行い、もっとたくさん中国の方が沖縄の素晴らしさと魅力を見つけて、沖縄で結婚式を行うようになった。

③中国のお客様は海外で結婚式を挙げることによって、どんな体験を得たいと思われるのか。

➡心地良い南国リゾート空間での癒されたい気持ち、日本ならではのホスピタリティ、そして、海が見える素晴らしい自然に囲まれたチャペルで結婚式を挙げるという最高の幸福感などがあげられる。

④中国のお客様の変化に応じて、沖縄はこちらでしかない体験やサービスをアピールしているのか。どういう内容があるのか。

➡海外リゾートウェディングが手掛ける中国ウェディング業者が日本のリゾート地である沖縄にも注目し、沖縄ならではの文化を生かした施設や飲食、ロケーションの良いチャペル及び品質の高いパーティー会場、日本ならではの安心したおもてなし、ショッピング、治安面もちゃんと工夫されている。

⑤現在海外ウェディングの課題としてどういうのが挙げられるのか。相応の対策についても教えてください。

➡課題として、①日本入国するにはビザ申請が必要であること （沖縄で結婚式を挙げたいが、ビザ申請するには書類提出など手間がかかるので、引いてしまう） ②直行便が少ないこと（チケット求めが難しくなる） ③二次交通の不便さ（中国の免許は日本で運転できないので、出かける際影響が与える）
　対策として、ONE STOP SERVICE を出している企業があるので、代理でビザ申請から滞在期間中あらゆる面でサポートしていくなど。

翻訳文：

① 来冲绳举办婚礼的中国新人，大部分都是企业主管及以上职务或私营业主，属于中高收入人群。近年来只有两位新人前来的比例逐渐减少，带亲友前来一起被祝福的增多，在冲绳的停留时间和消费金额也相应增加。

② 发生变化的原因是海外婚礼的概念渐入人心，认知度有所提高。中国人的消费能力越来越强，价值观产生了变化。这得归功于一直致力推广冲绳目的地婚礼的相关业者，让中国新人得以发现冲绳的魅力所在，产生了想在冲绳举行婚礼的念头。

③ 中国新人希望在冲绳可以在享受冲绳南国度假风情的同时体验到日式最优秀的婚礼服务，在一望无际的透明海水和大自然围绕着的教堂里举行婚礼时的幸福感等。

④ 中国婚庆界已经开始关注日本的度假村冲绳这一块圣地，其独特的文化与饮食，最佳外景的教堂和高级品质的宴会场，日式精致服务，在购物和治安方面也有保障。

⑤ 目前冲绳海外婚礼的痛点有 3 个方面，一是入境需要事先办理签证手续，对意向前往的新人造成很大阻碍，二是直航班次太少，购票有难度，三是二次交通的不方便，中国驾照在日本无法驾驶，对出行影响较大。对此相关企业制定了一站式服务计划，包括代理申请签证，在当地停留期间提供各种支持等。